

福井豪雨から10年 Vol. 2 県民公開シンポジウムを開催しました

H26.7.22

～福井河川国道事務所～

概要

平成16年7月に福井県に大きな災害をもたらした福井豪雨から今年で10年。昨年の嶺南地域を襲った台風18号など、その後も全国で自然災害が後を絶たない中、福井豪雨を振り返り改めて水害に対しての防災・減災への意識を喚起するため、関係機関と協同し「福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会」として広報活動を実施しています。

県民公開シンポジウムでは、防災の専門家や行政関係者、被災した市民らがパネル討論し、相次ぐ風水害から「命を守るための避難」について考えました。会場は300名程の参加があり、立ち見が出るほど盛況でした。

【県民公開シンポジウム 問い直そう、福井豪雨の教訓～あれから10年】

日時・会場：平成26年7月19日(土)13:30～15:30 福井県県民ホール

パネリスト：牛山 素行（静岡大学防災総合センター 教授） 柿下 毅（福井地方気象台 台長）
竹内 成和（福井県 土木部技監） 飛田 幸平（福井市 危機管理対策監）
住民代表者 3名

主催：NHK福井放送局 福井新聞社

共催：福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会

（国土交通省近畿地方整備局 福井地方気象台 福井県 福井市 鯖江市 あわら市 小浜市 坂井市 若狭町）

パネルディスカッション

「命を守るための避難」をテーマに福井豪雨当時の気象状況や被害状況を振り返り、避難についての課題や、昨年発生した伊豆大島での災害を踏まえ情報伝達や大雨特別警報、避難に関する制度等について活発な討論が行われました。

（この内容は、8月31日NHKにて福井県のみ放送予定）



パネル展

会場内では、「ふくいの水防災を考える会」で準備したパネル展を実施。福井豪雨の当時の状況がわかる写真や映像、および復興に至る事業やダムの効果等についてのパネル展示をおこない、シンポジウムに参加された多くの方々に興味を持って頂きました。

（取り組み全体を8月31日放送予定）



【NHKの放送や福井新聞等の掲載】



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
福井河川国道事務所調査第一課
〒918-8015 福井市花堂南2-14-7
TEL 0776-35-2661

